

アンケート結果から　ご意見・ご要望

学校のために貴重なご意見ご提案本当にありがとうございました。一部について見解を述べさせていただきます。本来おひとりずつご説明すべきところを紙面にて失礼させていただきます。すべてのご意見に納得いくご説明ができたとは思えませんので、もし個別にお話し等ございましたら、ぜひお電話または直接校長室まで、お気軽にお声かけ下さい。（文章を要約させていただきました。）

運動会は春に実施したほうが望ましいのではないですか

本年度は天候不順のため皆様にはご迷惑をおかけしました。厳しいご意見を頂戴しました。見通しの甘さ、度重なる変更。学校の信頼を損ないかねない対応であったと深く反省しております。あらためてお詫び申し上げます。近年地球温暖化のせいか、10月も台風シーズンといえるほどで、逆に6月の月上旬の降水量は低いことが分かっています。市内では春に実施している学校がほとんどです。（20年前は秋の学校も多かったのですが次第に春に変わってきました。東京都は秋が多いです。）なぜ秋に実施したのかということですが、①入学進級して間もない5月にあわただしく実施するよりも、むしろ夏までは学級づくり学年づくりを優先し、成長した姿で運動会を迎えたい。②開校以来岡上は収穫の時期を合わせて秋の運動会を長く実施してきた。③5月下旬から6月の月上旬にかけて5年生が田植えと自然教室があり、それらの活動にじっくり取り組ませたい。との理由から秋実施で進めてきました。一昨年様々な議論の末至った結論ですのでご意見はあろうかと思いますが、2年で変更してしまうのはどうかと判断しました。春実施に変える場合自然教室、修学旅行の日程も変更し、教育課程（実は今年の夏から来年度の計画を立てています。）の見直しが必要です。保護者の皆様から頂いた意見をもとに、来年度夏の時点で再来年度の検討を進めたいと思います。

来年度は秋に実施しますが、今年度のような混乱を防ぐため①中止、延期の場合の予備日の設定（今年は市長選挙のため平日開催になった。）②平日開催の日時を早い段階で確定する。本年度のように2回に分けることはしない。③長期予報や天候の特異日をもとに予備日を決定する。④早くからのグラウンドの整備などの対策を十分に検討しながら30年度も秋に実施させていただきます。併せて31年度の開催については保護者の皆様のご意見をもとに、再度早い時期から検討いたします。

貴重なご意見ありがとうございました。

放課後の部活動はできませんか

ご提案ありがとうございます。ご提案の通り放課後に子どもたちのエネルギーが向けられる課外活動は得るものが大きいと思います。行うとしたら本校職員が担当することを想定されていると思います。中学校のできるのになぜと小学校ではできないのかと思われたことでしょう。小中いずれも見てきた経験からご説明いたします。

中学校も小学校も教員の本務は学級で毎日わかりやすい授業を行うことですので、放課後から夜にかけては翌日の5～6時間分の授業準備が求められます。小学校は中学校に比べて内容は易しいですが、どのように意欲を持たせて学ばせるのかについては小学校のほうが工夫を求められますし、専門教科制ではなく10教科に上る内容の把握と、児童それぞれの課題と目標を整理したり、ノートをみたりということにしっかりと時間をかけなければなりません。勿論小学校は空き時間もありませんし、小学校での部活動は指導要領（特別活動）にも例示されておりません。限られた時間と体力をボランティアとして発揮することのできる者もいるかもしれませんが、休憩時間もなく一日6時間元気な児童とともに授業をつくる仕事は激務ですので、本末転倒になりかねません。職員には放課後はしっかりと授業準備・行事準備に時間をかけ、長期休業中は全教科の研修に参加して授業力向上をすすめ、週末は家庭や余暇を大事にし、気持ちにゆとりをもって指導に当たってほしいと考えています。

外部指導者が実施する場合は市全体が現行の学校施設開放制度を変え、指導員の任用規定も考える必要があるかと思います。

校庭やプールの開放はできませんか

放課後や休日に子どもたちが遊べる公園が少ないのご意見になるほどと思いました。自分も放課後友達と彼方此方の公園や団地の公園でボール遊びをしたものです。公園の場合はけがをしたら当然自己責任になりますし、どんな人が来るかは全くわかりません。しかし、学校を開放するとなると公園のようにはいきません。①けが　トラブルへの責任　②備品等の管理　③侵入や火災等事件事故への対策　などがようになってきます。前項でもお伝えした通り、私たち教職員が児童の安全に責任を持つ時間には限りがあります。岡上小学校の体育施設は学校の授業等の活動のない時間は川崎市の持ち物として管理されています。市では校庭体育館の施設開放は登録団体に行っています。他都市では校庭の個人開放を職員とは別の開放指導員が管理して行っているところもあるようです。学校施設開放については市全体の問題になると思われます。施設開放委員会でご意見があったこととお伝えいたします。併せてプールに関してですが、今どの自治体もプール開放に関しては命にかかわることですので、実施に向けての条件はとても厳しくなっています。有資格の監視者を配置し、水質を徹底的に管理できる業者に委託しています。（なかなか請負業者もリスクの大きさから少ないと聞いたことがあります。）夏休みの開放は市全体での事業になりますので、ご意見があったこととお伝えいたします。校内での水泳指導ですが、学習指導要領に示された体育科の指導計画に則り行っております。夏季に特別に水泳教室を行うということだと、日程や水質維持の循環設備等のさまざまな条件整備が必要ですので検討させていただきます。

学習指導要領に沿った指導を行っていますか

「特色ある教育活動」も大事ですが、公立学校として全校どこ学校でも同じ力が身に着けられることが憲法で保障された教育の機会均等に当たります。また、指導要領に示された内容は必ず検証された授業内容であり、それをもとに各学級の子どもの実態や教師の工夫アイデアで実践することとしています。例えば実技教科や生活科・総合的学習の時間などは例示が最小限であり、学校によって幅のある解釈のもとに授業を進めています。

私が子供の頃　学校で母の日の授業がありました。その日みんなは赤いカーネーションの飾りを作りますが、お母さんがいない子は白いカーネーションを

作らされました。白いカーネーションを持つ子の気持ちを先生はどのように考えたのでしょうか。この授業は果たして指導要領に則っているのでしょうか。教育課程とは児童がその活動を通して何を身に着け、豊かな心に育っているかをもとに編成されるものです。そのことを忘れてはなりません。

例えば以前家庭科で「うちの人の仕事を調べる」などという活動が教科書に載っていたりしたのですが、事情を抱えたご家庭のお子さんにとってはつらい内容です。活動が指導要領に示され検証された授業であるのかどうかを常に見極めていきたいと思います。ご指摘ありがとうございます。

子どもが意欲をもつ英語やパソコンの授業を工夫して増やせませんか

激動の世の中で情報技術と英語力は今後ますます重要です。ご存知の通り公立学校ですので小学校課程で学ぶ内容と時間は定められており、勿論英語の時間もパソコンの時間も大事ですが、どちらもコミュニケーションのツールとして考えれば、そのもとになる「何を伝えるか。」「何を調べるか。」の内容としての社会科や理科の学びが重要と考えています。全体の時間数が限られていので難しいと思いますが、ご提案のように他教科と合わせての活動＝例えば国語とパソコン、音楽と英語　という学びのスタイルは大いに賛成です。私は15年前に英語の歌を連合発表会でやりました。このような教科の枠を超えた活動（教科横断）は新学習指導要領でも推奨され検証されていくことと思います。ちなみにスペインでの研究では英語を学習する開始年齢の遅い学生のほうが成績が良いというデータが報告されています。

音楽専科が必要ではないでしょうか。

それぞれ中学校の教員免許を持った教諭を別枠で採用している県もあります。ご指摘のようにもし現教員数にプラスしていただけるなら音楽専科を実施したいです。全国どの学校も児童数当たりの学級数と担任教員の定数は法律で決まっています。それに自治体で独自に教員の加配を行っています。本校のように小規模校はどうしても加配される先生の数が大きい学校より少なく、現状では本来専科教員の枠がありませんが、非常勤講師として小脳先生に理科専科をお願いしています。理科専科を存続してほしいという保護者からの声が多く、5年生の学力状況調査のアンケートでもずば抜けて高い結果を得ています。教員の人事の詳細については公開できませんが、ご意見をもとに音楽に堪能な教員を配置するように要望いたします。

高い学力をつけてほしいと望んでいます。そのような授業を進めてください

確かな学力をつけるというのは重要です。豊かな人生を送る手段として学力はその一つです。私たちは全国学力テストの点数を上げるためというよりも、日々それぞれの教科の目標に準拠して一つ一つ確実に進めていくことで、児童の考える力やスキルを高めていきたいと考えています。例えば同じ課題について、自ら考える、相手の意見に疑問を持つ（批判的思考）が学力を伸ばすカギと言われています。一層の授業改善を進めてまいります。全国テストの高得点である秋田県は家庭学習の時間が圧倒的に長く、宿題も多いことはご存知かと思ひます。ご家庭でのご協力をお願いします。

先生方の英語の発音は大丈夫でしょうか

おそらくネイティブのような発音はできないと思います。勿論私もできません。英語を学ぶ上で挨拶がネイティブのようにできることが重要とは思いません。第二言語としているシンガポールやインドを参考に、まずは伝える意思を持ち、つたえる中身を学ぶことが大事と考えています。ネイティブのように話せないと指導しないというのでは　オリンピック選手のように美しく泳げなかったら泳がないのと同じです。しかも今はニューヨークなど発音が多様化しており、いまやななが正しい発音なのかわからないとさえ言われています。ただし、ご指摘の通り今後とも教職員一同外国語活動の指導に研鑽を積むことをお約束します。

縦割り活動は必要でしょうか

異学年で人間関係を作ること、多様性を理解する第一歩と考えています。ほかの学校から来る与本站の高学年の子の小さい子へのやさしさ思いやりを強く感じます。休み時間の遊びも当たり前のようにいろいろな学年の子が入り混じっています。確かに大きい子にとっては負担かもしれませんが、小さい子の保護者の方はいじめられやしないかと心配かもしれませんが、どうかこの風土は大事にしていきたいと思います。併せてご指摘の通り「縦割り活動」に魅力が感じられるように工夫していきます。

貴重なご意見ご提案ありがとうございます。また、ここに記載できなかったご提案ご意見等については来年度に反映してまいります。

<p>そのほか　たくさんのご意見ありがとうございました。</p>	
安んじて学校に送り出すことができました。2　　学校が落ち着いており　穏やかで温かい　　学校全体が楽しい空間になっている。　愛情を感じる指導　2	
担任の先生が小さな問題にも真剣に対応してくれた　3　　いつも子供のことを第一に考えて見守ってくださっている。　大雪・台風時の対応がよかった　3	
先生方の雰囲気が良い。2　　先生と一緒に遊んでくださっている　先生方の情熱　5　　親にももっとこうしたらときちんと提案してくれる	
運動会は秋を継続してほしい　運動会の対応に感謝している　3　　子どもたちと作り上げた運動会が良かった　地域とのかかわりを大事にしている	
ひとり一人に声をかけ、よく見てくれている　毎朝の登校指導がうれしい　理科（専科）の授業を続けてほしい　岡上の植物昆虫の掲示がよい	
安全への配慮ができている　丁寧な対応　温かい指導　子どもに寄り添った指導に感謝　安全安心な学校	
校長室だより楽しみ　10　　体験学習が良かった　先生の励ましで学習意欲が向上した。　学校が楽しい　3	